

# 小浜区の紹介

緑枠の範囲がざっと集落範囲

赤枠の辺りが古き時代の集落の中心

手掘りトンネル



## ★地区の概要

京都府最大の淡水湖を有する集落。網野町中心より1キロ程北に向かった周辺にある地区(集落)です。といっても網野地区と境がわからないほど離接している地勢です。網野地区、浅茂川地区とは異なり機業世帯より農業世帯が多かった集落です。網野町中心への北側入り口、また網野高校の近くということで人の往来で賑わったことがうかがえます。

地勢的に山を境にしない集落(南側)のため網野地区側隣接地が区内新興地となり、世帯戸数が増えた時期がありました。学区運動会などの地区チームとしての団結力も強く同時に親睦密度も高いことがうかがえます。その波及で町内他の地区にない青年組織「小浜青年会」が十数年前より結成されています。現在30人余りの構成(~42歳)で後述するイベントなどに一役買っています。

## ★地区イベント「弁天まつり」

離湖が整備された十数年前より行われています。湖に浮かぶ小山の頂上に「龍献寺」がありこの寺の祭事であると云われます。過去には7月14日に行われていましたが昨今の区民参加者事情により毎年「海の日」に行われます。主催は小浜区です。この祭りのクライマックスは離湖を利用した約30メートル幅の花火「ナイヤガラ」の実演です。これは花火の中でも圧巻で見ものです。

有用な「離湖」ですが、古においては様々な試練があったと云われます。離湖の水量を海に流す余裕のある河川がなく、現在の島津精練工場の裏山にトンネルを手掘りで敷設したのです。トンネルの向こうは小浜海水浴場北側になります。また、満潮時には落差がないがため逆流をおこし、水田などにも被害が多発したので後年におき、そこより南側に新しい河川を造りました。(新樋越川)

## ★集落の勢い

歴史的な経緯は省略しますが、古き世におき集落外に区の所有地等がたくさんあり(下岡、引原、網野地区、三津地区)その富裕度がうかがえます。夏季においては所有地である八丁浜近辺にキャンプ場、駐車場を有し区の事業運営に有益なものとなっているようです。



# 圧巻の花火・ナイヤガラ





小春日和の休日に、  
ぜひ、離湖周辺の散策においで下さい

